カリフォルニア州地域センターサービスシステムのガイド

2025年2月

Department of Developmental Services

目次

地域センターからの歓迎....4

はじめに.... 5

1 ランターマン法.... 6

ランターマン法 とは何か、誰を支援する法律か？....7

ランターマン法による私の権利とは何ですか？....7

発達障害サービス局とは何ですか？....8

地域センターとは？....8

地域センター制度の重要な価値は何ですか？....10

2 サービスを受ける資格。.... 11

ランターマン法の下でサービスを受ける資格があるのは誰ですか？.... 12

私はサービスを受ける資格があるかもしれないと思いますが、どうすればよいですか？.... 13

3 サービスおよび支援の申請.... 14

サービスの申請方法は？....15

私は暫定的な資格または地域センターのサービスを受ける資格がありません。他に何ができますか？....18

情報、支援、リソースを得るには他にどこに行けばよいですか？.... 19

地域センターのサービスには料金がかかりますか？.... 22

ホーム・コミュニティベースサービス（HCBS）免除とは何ですか？....22

地域センターのサービスを受けるには、ウェイバーに登録されている必要がありますか？.... 23

どのようにしてウェイバーの資格を得ることができますか？.... 23

4 初めての地域センター面談の準備....24

地域センターと共有する情報は何が適していますか？.... 25

私の地域センターの記録は機密ですか？.... 25

英語以外の言語で情報、評価、または面談が必要な場合はどうすればよいですか？.... 26

自分の地域センターのファイルを閲覧、またはコピーを取ることはできますか？....26

5. 個別プログラム計画 27
私は地域センターのサービスを受ける資格があります。次のステップは何ですか？ 28
サービスコーディネーターはどのように私を手助けしてくれますか？ 28
個別プログラム計画（IPP）とは何ですか？ 28
私のIPP計画チームには誰がいますか？ 29
自分のIPPを作成するにはどうすればよいですか？ 29
私のIPPのタイムラインはどうなっていますか？ 30
IPPに署名しなければなりませんか？ 30
IPPはどのように変わりますか？ 31

6. サービスの利用 32
地域センターから受けられるサービスや支援にはどのようなものがありますか？ 33
地域センターからサービスや支援を受けるにはどうすればよいですか？ 33
他にも利用できる公的およびコミュニティのリソースはありますか？ 34

7. 人生のさまざまな段階で変化するサービス 36
サービスは人生を通じてどのように変化しますか？ 37
子ども、青年、若者には何が起こりますか？ 38
大人の場合はどうなりますか？ 40

8. 意見の相違を解決する 41
地域センターに同意できない場合はどうなりますか？ 42
異議申し立てとは何ですか？ 42
誰が私の異議申し立てを手伝ってくれますか？ 43
異議を申し立てるための期限はいつまでですか？ 46
異議申し立て手続において私にはどのような法的権利がありますか？ 46
異議申し立て手続き中には何が起こりますか？ 47
異議申し立てを完了するための期限はいつですか？ 47
地域センターまたはサービス提供者から不当な扱いを受けたと感じた場合、
どこに苦情を申し立てればよいですか？ 48

9. 追加のリソースと支援 49
連絡先 50
地元のリソース 54
Early Startプログラムからの移行に関するその他の情報 60
学齢期および成人向けサービスに関するその他の情報 61
医療および社会福祉サービスの詳細について 63
親/保護者の権利に関するその他の情報 64
10. 一般的に使われる用語 66

Harbor Regional Centerへようこそ

リージョナル・センターのサービスを受給されるご本人様そしてご家族の皆様へ

Harbor Regional Centerへようこそ！皆様とご家族をサポートできることを光栄に存じます。

Harbor Regional Center（Harbor）は発達障害をお持ちの方々とその方々を支える皆様が、私たちの多様なコミュニティの中で最良の人生を歩んでいただけるよう、個人中心（Person-Centered）に考え、常により良いサービスを追求し提供することを目指しております。

California州内にある21のリージョナル・センターの一つとして、私達はLos Angeles郡のSouth Bay、Harbor、Long Beach、そして郡南東部の各地域を通じて、皆様とご家族にサービスを提供できることを誇りに思っております。当センターのサービスを初めてご利用になる方から人生の新たなステージへと進もうとされる方まで、私達はサービスをご利用される全ての皆様に自信と配慮と思いやりを込めて、皆様の人生の旅路を全力でサポートさせていただきたく存じます。

サービスやサポートへのアクセスを探し求めご利用されることが、時に大きなご負担と感じられることもあると、私達は理解しております。私達はこの情報パケットが、リージョナル・センターの仕組みに関する包括的な概要をご説明できるものと確信しております。皆様ご自身またはご家族が、自閉スペクトラム症、脳性まひ、てんかん、知的障害、または知的障害に類する症状などを含む受けた診断に関わらず、私どもが誠心誠意サポートさせていただきたく存じます。

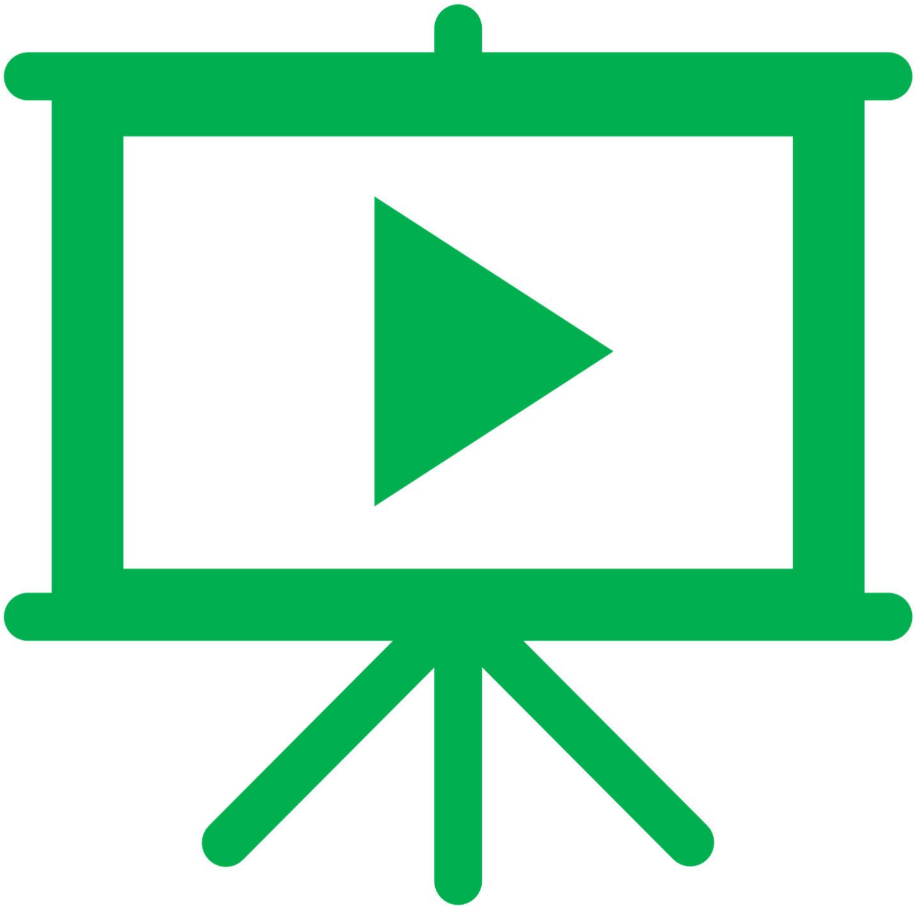
ご自身またはご家族のサービス受給資格が有ることが決まりになりました際には、当リージョナル・センターのサービス・コーディネーターが担当チームに配属され、サービスのご利用、目標の設定、ご成長、自立、そして生活の質を支えるリソースへのアクセスをサポートいたします。

私達は、皆様のサポート・ネットワークの一員として加われることを誇りに思い、皆様とご一緒に強固かつ協力的な関係を築けることを楽しみにしております。

敬具

Patrick Ruppe
エグゼクティブ・ディレクター
Harbor Regional Center

はじめに



このガイドへようこそ！
内容について知っていただき、
それがどのように役立つかをご覧ください。

この情報パケットは、地域センターのサービスを受ける方法について説明しています。それは 次の方々に役立つはずです：

- 地域センターのサービスを申請する人々
- 地域センターによって支援を受けている個人
- 親／保護者
- その他の介護者

サービスや支援をどのように利用できるかを理解していただくことが目標です。これには以下の情報が含まれます：

- 法律
- 地域センター制度
- 地域センターおよびコミュニティで利用可能なサービス
- サービス利用の権利および資格

パケットは10のセクションに分かれています。あなたはそれらを一つずつ読むことも、またはあなたにとって最も役立つ部分だけを読むこともできます。

1. **ランターマン法**：*サービスや支援を提供するための法律、価値観、および原則を理解する。*
2. **サービスを受ける資格**：*誰が援助を受けられるのか、そして発達障害として認定される条件は何かについて理解しましょう。*
3. **サービスと支援の申請**：*地域センターのサービス申請の第一ステップについて学びましょう。*
4. **初めての地域センター面談の準備**：*必要な書類 や情報を 受付手続きのために集めてください。*
5. **個別プログラム計画（IPP）**：*人々の希望や必要に合わせたサポートの個別プログラム計画の作成と活用について学びましょう。*
6. **サービスへのアクセス**：*IPPが合意されたら、サービスの取得方法と利用方法を学びましょう。*
7. **あなたの一生を通して変化するサービス**：*サービスが時間とともにどのように変化し、どのように異なるサポートをあなたが必要になるかを理解しましょう。*
8. **意見の相違を解決する**：*意見の相違を 解決する 手順や、異議申し立てのプロセスについて学びましょう。*
9. **追加のリソースとサポート**：*あなたを支援できる権利擁護およびサポート団体、機関、プログラム。*
10. **一般的に 使用される用語**：*本書全体で使用される用語の定義。*

1. ランターマン法

法律について、そして誰がそれに従う必要があるのかを学びましょう。

ランターマン法 とは何か、誰を支援する法律か？

ランターマン法は、1969年に施行されたカリフォルニア州の法律です。それはフランク・D・ランターマンにちなんで名付けられました。彼は、発達障害のある人々とその権利の擁護を提唱したカリフォルニア州の議員でした。

ランターマン法は、発達障害のあるカリフォルニア州民を支援します。それは、地域社会で自立し生産的な生活を送るために必要なサービスを受ける権利を彼らに与えます。その法律は地域センター制度を創設しました。地域センター

- 資格を審査する
- ニーズを査定する
- 発達障害のある方やそのご家族に対して、サービスと支援を提供または調整します。

あなたのサービスは、あなたとあなたの計画チームによって決定されます。あなたのサービスは、あなたのニーズを満たし、あなたの文化と言語に最適であるべきです。地域センターのサービスを受けるすべての人が、質の高いサービスに平等にアクセスできるべきです。

ランターマン法および関連法について学ぶための詳細情報がご利用いただけます。これには、わかりやすいリソースガイドが含まれています。

ランターマン法による私の権利とは何ですか？

あなたの権利には以下が含まれます：

- 地域またはご自宅の近くで受けられるサービスや支援
- 尊厳、プライバシー、人道的なケア
- あなたのニーズに応える公共教育
- 迅速な医療ケアと治療
- 信教の自由と宗教的行為の自由
- 友情、人間関係、そしてコミュニティ活動
- 運動およびレクリエーション
- 危険からの解放と安全
- 有害な処置からの解放
- 自分の人生をどのように生きるかについて選択をするために
- 虐待についてのいかなる訴えに対しても迅速に調査を行います

あなたには、地域センターのサービス提供方法についても権利があります。これには、以下の権利が含まれます：

- あなたのサービスニーズの査定。
- あなたのニーズと選択に基づいた個別プログラム計画 Individual Program Plan（IPP）。あなたとあなたのIPPチームは、目標と目的を特定します。あなたはまた、目標を達成するために役立つサービスやサポートについても話し合います。
- あなたに必要なサービスを受けるためのサポートをするサービスコーディネーターからの支援。
- あなたの地域センターの記録の機密性およびあなた自身の記録にアクセスする権利。
- 地域センターの決定に関する意見の相違を解決する方法。
- あなたの権利が侵害されたと考える場合に苦情を申し立てる方法。

DDS Department of Developmental Services

発達障害サービス局とは何ですか？

発達障害サービス局（DDS）は、カリフォルニア州に住み、発達障害のある方々のためのサービスを調整する21の地域センターと連携している州の機関です。DDSは地域センターと提携し、個人が自分で選択し、地域社会の一員として自立し生産的な生活を送る機会を持てるよう支援しています。DDSは、リーダーシップ、技術支援、および方針の指針を提供します。DDSは、サービスを提供するためにカリフォルニア州の21の地域センターと提携しています。DDSは、地域センターがどのようにサービスを提供するかを監督しています。DDSは、州が運営するサービスを管理しています

地域センターとは？

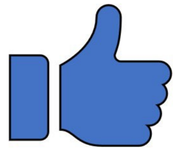
地域センターは地域の機関です。彼らは、発達障害を持つ子どもや大人またその家族のためにサービスを手配します。カリフォルニア州全体の各地域には、それぞれ地域センターがあります。あなたは、ご自身が住んでいる場所の地域センターと連携して物事を行います。地域センターでは以下を行っています：

- 発達遅延または発達障害の査定
- サービスの受給資格の判定
- あなたのサービスのニーズを査定し、それらのサービスを受けられるようにお手伝いします。

- あなたのすべてのサービスニーズを記載した個別プログラム計画（IPP）を作成するために、あなたと一緒に取り組みます。
- サービス提供者と契約し、サービスを監督します
- 州および連邦の方針に従います

すべての地域センターには同様のプログラムがありますが、各地域センターごとに異なる方法で運営している場合があります。これは、各地域社会が独自のものであるためです。お住まいの地域のリージョナルセンターは、以下に郵便番号を入力することで見つけることができます。 リージョナルセンター検索ツール

地域センター制度の重要な価値は何ですか？



エンパワーメントと選択肢：個人およびその家族は、自分たちの生活に影響を与える問題について、自ら決定を下すことができるべきです。人々が充実した自立的な人生を送ることが目標です。これは、サービスの計画と提供の中心にその人を据えることによって実現されます。

多様性と文化的好み：地域センター制度は、支援を受ける人々のさまざまな背景や文化を尊重しています。彼らは多くの言語でサービスを提供しており、多様な人々を支援するために通訳者も用意しています。彼らはまた、彼らが支援する人々の特定のニーズ、価値観、文化的な好みに対応したサービスも提供しています。

家族サポート：家族は、愛する人特に幼い子どもに関しては、何が必要かを最もよく知っていることが多いです。通常その人たちの人生で何が起こるかを決めているのはその家族です。サービスや支援は、家族の強み、個人的な関係やつながり、そして地域のリソースに焦点を当てるべきです。

コミュニティ統合：発達障害のある人々もコミュニティの一員です。地域センター制度は、障害のある人もない人も共に生活し、働き、楽しむことができるよう支援すべきです。

チームワーク：自己擁護者と家族は、地域センターシステムのパートナーです。前向きな未来の計画は、サービスを受ける本人が主導し、チーム全体で取り組むものです。

2. サービスを受ける資格。

地域センターからサービスを受けられるかどうか
を調べる方法を学びましょう。

ランターマン法の下でサービスを受ける資格があるのは誰ですか？

発達障害に該当するのは以下の症状です。：

- 自閉スペクトラム症（ASD）
- 脳性麻痺
- てんかん
- 知的障害
- 知的障害に密接に関連している、または知的障害のある人と同様の治療が必要であり、かつ単なる身体障害ではない、その他の症状

精神的健康の診断 または学習障害があるだけでは、地域センターのサービスを受ける資格は十分ではありません。サービスを受ける資格を得るには、発達障害が以下の条件を満たしている必要があります:

- 18歳になる前に発症し
- あなたの一生涯続く
- 歩行、コミュニケーション、理解、自分の世話、または働くことなどが困難。

および

日常生活の**少なくとも三つ**の項目で難しさを感じる:

- 食事、着替え、自己管理（セルフケア）などの日常生活スキル
- 言語の理解、会話、自己表現（聞き取りおよび自己表現の言語）
- 考えることと理解すること（学習）
- 歩行、移動、身体を動かすこと（モビリティ）
- 選択をすること、基本的なニーズを満たすこと、社会的および感情的な判断、および自立すること（自主性）
- 自分で選んだ家に、ほとんど支援を受けずに住むこと（自立した生活能力）
- 食物を買い、請求書を支払い、仕事を持つこと（経済的自立）

地域センターは、あなたがサービスサービスを受ける資格があるかどうかを判断するために評価を行う場合があります。家族の収入や移民のステータスは、地域センターのサービスを受ける資格には影響しません。

私はサービスを受ける資格があるかもしれないと思いますが、どうすればよいですか？

地域センターのサービスを受ける資格を得るには、発達障害があることが必要です。発達障害の兆候は、その人の年齢によって異なる場合があります。それらの兆候は地域センターのサービスが必要であることを示す場合があります。

乳児や幼児の場合、次のようなことに気付くかもしれません：

- 早産または低出生体重
- 視覚または聴覚の障害
- 出生前（prenatal）または出生後（postnatal）の薬物、アルコール、またはタバコへの曝露
- 栄養不良または偏食（栄養価の高い食品、たんぱく質、ビタミン、鉄分の不足）
- 鉛を含む塗料への曝露
- 虐待またはネグレクトなどの環境要因
- 発達障害に関連する遺伝性疾患（例：ダウン症）

子供、ティーン、大人の場合、次のような事でサポートが必要な場合があります：

- 同年代の他の人と比べて、着替え、入浴、食事、そして日常生活全般
- 日々の活動を計画し、整理整頓し、目標を設定すること
- 問題を解決すること、物事を異なる視点で見ること、そして善悪を理解すること
- 学校で学び、友達を作り、新しい人々と話すこと
- 数字、時間、またはお金を理解すること
- 歩行、動くこと、見ること、聞くこと

誰でも電話、メール、または書面で地域センターに紹介を行うことができます。地域センターのサービスを受ける資格があるかどうかを調べには、診断を受けている必要はありません。地域センターは、あなたがサービスを受ける資格があるかどうかを判断するためにさらに評価を行う場合があります。

次のセクションでは、サービスの申請方法についてさらに詳しく学びます。

3. サービスおよび支援の申請

資格を得た後にサービスや支援を申請する方法、
または他の支援を受ける方法について学びましょう。

サービス申請の手続きおよびタイムラインは各地域センターとも同じです。まずは、近所の地域センターを探して連絡を取ることから始められます。地域センターには、電話、メール、または地域センターのウェブサイト上の電子フォームに記入してご連絡いただけます。

サービスの申請方法は？

あなたに発達障害があると思われる場合、ここにある3つのステップから始めることができます。これらの3つのステップは、サービスを受ける資格があるかどうかを調べるためのインテーク（受付）と呼ばれます。各ステップの詳細については、以下をご覧ください。

1

紹介:あなたについて、およびどのようにあなたを支援できるかを
話し合う 域センターへの最初の連絡。

2

同意書への署名：イ
署名 テーク面談および活動を開始するには、
をした同意書が必要です。

3

資格：あなたが地域セ
うかを判断する ンターのサービスを受ける資格があるかど
めに必要な追加の評価または査定。

1

地域センターへの紹介

地域センターに連絡すると、サービスコーディネーターまたはインテークスペシャリストがあなたに質問をします。彼らは あなたがこの インテークプロセスを進めるのを手伝います。サービスコーディネーターまたはインテークスペシャリストは、あなたについて知っている他の人がいるかどうかを尋ねます。これには、家族のメンバー、医師、教師、そしてソーシャルワーカーなどです。評価や診断結果は、サービスコーディネーターまたはインテークスペシャリストと共有してください。

地域センターがあなたがサービスを受ける資格があると判断した場合、インテークプロセスは完了です。

地域センターが確信が持てない場合、サービスを受ける資格があるかどうかを判断するために、さらに評価または審査を行います。地域センターは、あなたが連絡してから15営業日以内にこれを決定します。

2

評価または審査への同意

地域センターがさらに評価または審査を行う必要がある場合は、あなたの許可が必要です。あなたが18歳以上の場合は、ご自身で同意書に署名し、評価を開始する許可を与えることができます。18歳未満の場合は、親または保護者、または里親制度下の子どもの場合は教育権利保持者が同意書に署名する必要があります。後見人がいる場合は、その方が同意書に署名する必要があります。

3

資格審査

地域センターがあなたの署名済み同意書を受け取り次第、さらに評価または審査を行うことができます。査定を実施する担当者が、プロセスの各段階でその内容を説明します。完了までに120日かかる場合があります。あなたの健康や安全にリスクがある場合、タイミングが早まる可能性があります。

地域センターのサービスを受ける資格があるかどうかを判断するための評価または審査には、以下が含まれる場合があります：

- 過去に受けた評価や診断の記録または報告書の確認
- 地域センターによる診断審査
- 地域センターによるその他の審査

あなたは、他の地域センターのスタッフまたは関わっている他の専門家と面談することもあります。これには、ソーシャルワーカー、心理学者、医療専門家、その他の専門家が含まれます。受け入れ段階と審査プロセスにおいて、こうした担当者がチームとしてあなたに協力します。このチームは学際的チームまたはIDチームと呼ばれ、少なくとも医師一名、心理学者、そしてインテークまたはサービスコーディネーターが含まれます。

5歳未満の一部の子どもは、暫定的な資格と呼ばれるものの対象となる場合があります。その子どもはまだ該当する診断を受けていないか、または重篤な発達障害がない可能性があります。

暫定的な資格条件を満たす子どもは、以下の場合でも地域センターのサービスを受けることができます：

- 5歳未満の子供
- 障害が身体的なものだけでない
- 子どもに以下の生活活動領域のうち二項目において著しい制限がある：
    - 着替えと食事（セルフケア）
    - 聞き取りと会話（聞きとりおよび自己表現の言語）
    - 学習、思考、問題解決（学習）
    - 歩行と動作（移動能力）
    - 社会的および感情的な判断を使って、選択をする、自分の望むことを伝える（自己管理）

三歳または四歳の子どもが暫定的な資格を得るために、Early Startのサービスを受けていることは条件ではありません。暫定的な資格を得られると判断された子どもには、IPPが作成されます。暫定的な資格によってサービスを受けている子どもは、5歳になるまでそのサービスを受けることができます。その時点で、継続的なサービスを受けるためには、地域センターの資格要件を満たす必要があります。そうでない場合は、地域センターのサービスは終了します。この時期、家族／介護者と地域センターとのコミュニケーションは重要です。資格基準についての情報は、地域センターの資格とサービスをご覧ください。

サービスの資格がない場合、決定後5営業日以内に地域センターから通知の手紙が届きます。もし同意しない場合は、60日間以内にこの決定に対して異議を申し立てることができます。詳細については、セクション8をご覧ください。意見の相違を解決する。
最初の三つのインテークステップの完了には、最大で120日かかる場合があります。お待ちの間、いつでも地域センターにご連絡いただけます。この期間内に地域センターの決定が出ない場合は、サー

ビスコーディネーターまたはインテークスペシャリストに連絡してください。電話をかけた日や時間、話した相手の名前、相手が言った内容、留守番電話を残した日時、またはメールを送信した日時などを記録しておいてください。

地域センターが期限内に決定を出さない場合は、地域センターの所長に苦情を申し立てることができます。地域センターに関してあなたの取ったメモは、苦情の際に役立ちます。苦情の申し立て方法の詳細については、セクション8：をご覧ください。意見の相違を解決する。

私は暫定的な資格または地域センターのサービスを受ける資格がありません。他に何ができますか？
あなたが暫定的な資格または地域センターのサービスの資格要件を満たさない場合でも、他の選択肢があります。カリフォルニア州または連邦政府には、あなたを支援できる他のプログラムがある場合があります。

他のプログラムまたはサービスを探す

- あなたのインテークスペシャリストまたはサービスコーディネーターが、地域の利用可能なリソースを一緒に探すお手伝いをします。
- 他のリソースとして、在宅支援サービス（IHSS）、Social Security （社会保障）給付、Medi-Calなどを利用することもできます。
- 学齢期の学生（3-22歳）の場合、学区を通じてサービスを申請することができます。
- 成人（18歳以上）：
    - リハビリテーション局は、大学進学や就職の支援を行う場合があります。
    - お近くの自立生活センター（ILC）に、サービスやリソースがある場合があります。
    - 精神保健サービスについては、お住まいの郡の精神保健局に問い合わることができます。
    - お住まいの地域の高齢者・障害者リソースセンター（ADRC）に問い合わせることができます。彼らは高齢者や障害のある方々が地域の利用可能なリソースを見つけるお手伝いをします。

資格の決定に異議を申し立てる：あなたが資格に関する決定に同意できない場合は、その決定に対して異議を申し立てる権利があります。申し立て方法の詳細については、セクション8をご参照ください。意見の相違を解決する。

再申請：日常生活の分野で引き続き支援が必要な場合、新たな診断を受けた場合、または機能的能力に変化があった場合は、後で再申請することができます。機能的能力とは、基本的なニーズを満たすこと、学ぶこと、成長すること、意思決定をすること、動けること、人間関係を築き維持すること、そしてコミュニティの一員であることを指します。

「今は資格が無いとしても、将来的に地域センターがあなたの選択肢でなくなるのではないと、ご家族に理解いただく必要があります。もしさらにご要望があれば、再度お電話でご相談ください。」

- 地域センターの専門職員/スタッフ

情報、支援、リソースを得るには他にどこに行けばよいですか？

地域センターを通じたサービスを受ける資格が無い場合でも、あなたやご家族を支援するための他の利用可能な健康および社会サービスがあります。これらのサービス、たとえば教育、住宅、雇用、交通手段、健康、安全などは、誰にとっても役立ちます。地域センターは、あなたにこれらのプログラムやサービスを取り次ぐことができます。

カリフォルニア州高齢者局（CDA）：この州機関は、カリフォルニア州に住む高齢者、障害のある成人、家族介護者、そして長期介護施設の入居者を支援しています。CDAは、次のようなサービスを提供する33の地域高齢者支援機関のネットワークと連携しています。

- 食事を得る
- 仕事を見つける
- できる限り自立して生活する
- 健康的な高齢化と地域社会への参加を促進する
- 介護者となっている家族を支援する

CDAは、交通、住宅とアクセシビリティ、緊急時の備えと対応、健康と栄養、転倒やけがの予防、認知症の方へのサービス向上、詐欺や虐待の防止など、多くの分野で他の団体と連携して取り組んでいます。

詳細については、CDAのウェブサイトをご覧ください。

カリフォルニア州社会福祉局（CDSS）：この州機関は、特別な支援を必要とする子どもや大人を支援し、援助し、保護するためのプログラムを提供しています。以下の情報をご覧いただけます：

- Cash Aid（現金扶助）：低所得者や家族向けの現金給付プログラム
- 食品と栄養：健康的な食品を購入するのをサポートするプログラム
- 児童福祉サービス：子どもを守り、家族を支援するサービス
- アダルトサービス：成人のケアおよび支援プログラム
- 里親、若者および家族：里親、里子、そして家族のための情報
- 養子縁組サービス：養子縁組の支援、兄弟姉妹や親の捜索、その他の養子縁組サービス
- その他のサービス：難民、移民、災害などに関する情報

あなたに役立つ可能性性のあるプログラムに次の二つがあります：

- 在宅支援サービス（IHSS）：自宅で生活を続けられるよう、身の回りのケアやその他のサー　ビスを手伝う労働者への支払いをします。
- CalFresh：低所得の人々や家族が健康的な食品を購入するための毎月の給付金です。電子給付送金（EBT）カードを取得することができます。EBTカードを受け付けている食料品店、レストラン、またはファーマーズマーケットで食品が購入できます。

詳細については、CDSSのウェブサイトをご覧ください。

医療サービス局（DHCS）：この州機関は、州のメディケイドプログラムであるMedi-Calを担当しています。Medi-Calは、低所得者や資格のある家族に医療サービスを提供します。Medi-Calプログラムは、身体の健康、精神の健康、薬物使用障害、サービス、薬局、歯科、および長期サービスと支援をカバーしています。

詳細については、DHCSのウェブサイトをご覧ください。

リハビリテーション局（DOR）：この州機関は、雇用および自立生活支援サービスを提供しています。DORが支援できる可能性があるのは以下のことです：

- 障害および給付プログラム
- 求職活動および面接スキル
- 職業訓練およびツール
- 大学と教科書
- 障害者用機器
- 託児サービスまたは交通手段などの支援サービス
- ピアサポート、スキル開発、システム擁護、紹介、支援テクノロジーサービス、移行支援サービス、住宅支援、そして個人支援サービス

詳細については、DORのウェブサイトをご覧ください。

211:カリフォルニア州の多くの郡には、住宅、食料、交通手段、医療などの基本的なニーズを満たすための支援を受けるために電話できる番号があります。電話で「211」をダイヤルすることで、誰かと話すことができます。

詳しくは、211のウェブサイトをご覧ください。

DRC（ディスアビリティ・ライツ・カルフォルニア）DRCは、カリフォルニア州に住む障害のある人々の権利を保護し、擁護するために法律によって設立された機関です。この機関は、あなたの権利を理解する手助けをし、無料の法律情報、紹介、コミュニティへのアウトリーチ、そして代理を提供することができます。この機関は、Social Security、学区、Medi-Calなどの他の機関からサービスを受けるお手伝いができる場合があります。

詳細については、DRCのウェブサイトをご覧ください。

社会保障庁（SSA）：この連邦機関は、退職者または障害者に毎月の収入を提供しています。SSAは、65歳以上の人々のための健康保険であるMedicareを担当しています。SSAは、あなたが働いたり、一部の公共資源を利用または、購入・販売・支払いなどの銀行や金融サービスを利用したりするために必要な、あなただけの番号であるソーシャルセキュリティーナンバーを発行することができます。

詳細については、SSAのウェブサイトをご覧ください。

地域センターのサービスには料金がかかりますか？

通常はかかりませんが、地域センターがあなたの医療保険または他のリソースから一部のサービスの費用を賄えるかどうかを確認する場合があります。地域センターは、保険やその他の資源でカバーされていない サービスを購入または提供することができる可能性があります。地域センターは、ある人々にはMedi-Calなどの医療サービスを利用できるよう支援することができます。Medi-Calを受けていない一部の方は、特定のサービスに対して少額の料金を支払う必要がある場合があります。家庭外でケアを受けている子どもの場合、親が料金を支払わなければならないことがあります。

ホーム・コミュニティベースサービス（HCBS）免除とは何ですか？

発達障害のある人のためのHCBSウェーバーは、発達障害のある人が認可された医療施設ではなく、自宅または地域社会で生活し続けるための特定のサービスの費用を支払う方法です。これらのサービスの費用は、連邦政府のMedicaidプログラムとカリフォルニア州の両方によって支払われます。この免除は、あなたが引き続き資格があることを確認するために毎年見直されます。これは「DDウェイバー」とも呼ばれています。ウェイバーを利用することの利点については、サービスコーディネーターにご相談ください。ひとつの利点は「直感的判断（Intuitional Deeming）」と呼ばれるもので、ご家族の収入の考慮無しで、すべてのMedi-Calサービスの資格を得るのに役立ちます。

地域センターのサービスを受けるには、ウェイバーに登録されている必要がありますか？

いいえ。HCBSウェーバーに含まれるかどうかはご自身で選択できます。地域センターは、サービスを受ける人々に対して、州が資金提供するサービスすべてを提供します。あなたは、ウェイバーの対象であるかどうかに関わらず、本人中心の計画、サービスや提供者を選択する機会、そして質の高いケアを受けることができます。

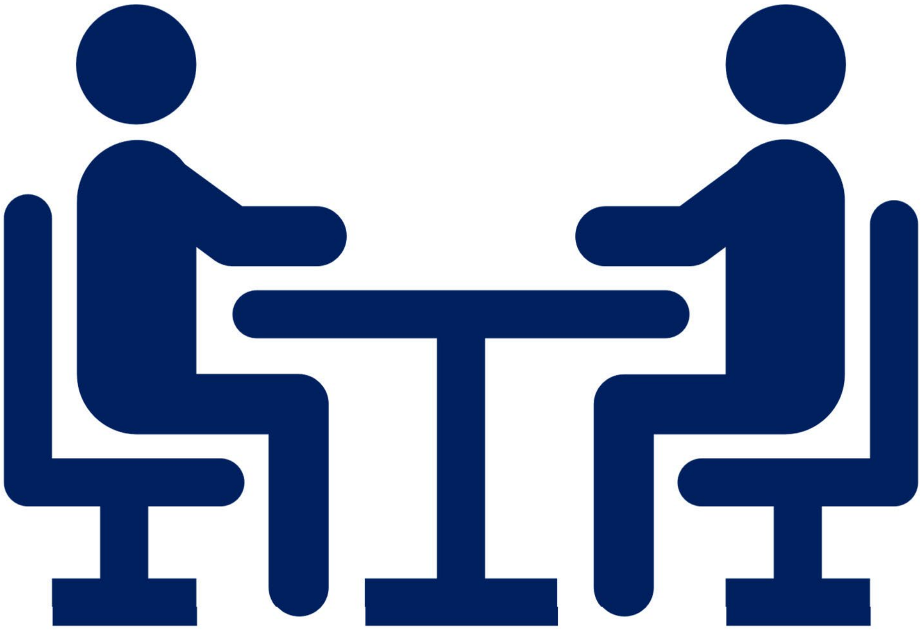
どのようにしてウェイバーの資格を得ることができますか？

1) 発達障害の正式な診断を受けているか、または暫定的な資格が認められ、地域センターのサービスを受けていること
2) 日常生活において支援が必要であり、認可された医療施設での生活する資格があるが、地域社会での生活を選択している
3) すでにフルスコープのMedi-Calの資格がある、または（子どもの場合は）両親の収入、（既婚の成人の場合は）配偶者の収入が考慮されなければ資格を得られる場合
4) 免除請求可能なサービスをひとつでも受けていること。まだ受けていない場合は、考慮に入るサービスをサービスコーディネーターに依頼することができます。

「地域センターによる継続的なケース管理または調整は重要です。もし自分でどう対処すればよいかわからないことに直面した場合は、サービスコーディネーターがサポートします。彼らはあなたのお子さんが成長するのを見たいと思っており、ご家族をサポートしたいと願っています。」

- 親/保護者

4. 初めての地域センター面談の準備



面談で何を期待すべきか、そして何を持参すべきかをご確認ください。

地域センターと共有する情報は何が適していますか？

地域センターは、あなたがサービスや支援を受ける資格があるかどうかを判断するために、あなたに関する情報を使用します。これは、地域センターがあなたのニーズを理解するために有効です。以下は、審査が正確かつ完全なものになるように、地域センターとの最初の面談に持参すべきもののチェックリストです。

あなたに関する情報：

- 氏名
- 住所
- 電話番号
- 親、保護者または後見人の氏名
- 障害

医療記録、病院およびクリニック：

- 健康保険証（民間保険、Medi-Cal、Medicareなど）
- すべての医師の連絡先情報、電話番号、住所およびメールアドレス（専門医、心理学医またはその他の医療専門家を含む）
- 治療を受けたすべての病院またはクリニック（病院／クリニック名、電話番号、住所を含む）

評価、報告書、または学校記録：

- 心理学医、Early Start/Head Startプログラム、またはその他の医療専門家によって作成された評価報告書、検診結果、または評価
- 通学した学校の連絡先情報。学校名、電話番号、住所、学校の種類（小学校・中学校・高校）、在籍・修了した学年を含む
- お持ちの場合は、学校からの個別教育計画（IEP）
- 医療クリニック、学校、またはその他のサービス機関からの報告書または懸念事項

私の地域センターの記録は機密ですか？

はい、記録は機密であり、安全に保管されるべきです。裁判所の命令がない限り、あなたの許可なしに記録が他の誰かと共有されることはありません。これは、医療保険の携行性と責任に関する法律（HIPAA）と呼ばれる法律の一部です。親/保護者にはこの法律の説明を受ける権利があります。

英語以外の言語で情報、評価、または面談が必要な場合はどうすればよいですか？

ご利用の言語をサービスコーディネーターにお伝えください。英語以外の言語で通訳を依頼したり、または書面による情報を他の言語で受け取ることができます。サービスコーディネーターは、あなたのご要望を記録し、必要に応じて代りとなるコミュニケーションサービスを提供します。

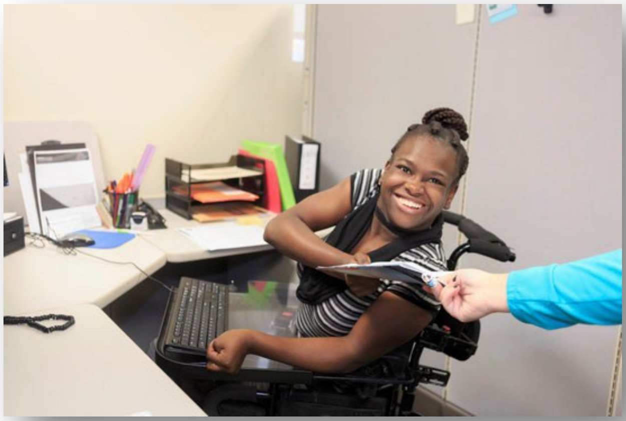
自分の地域センターのファイルを閲覧、またはコピーを取ることはできますか？

あなたには、ご自身の地域センターのファイルを閲覧する権利があります。これには、医師、評価者、またはその他の専門家など、地域センター外の人々からの情報が含まれます。あなたは、友人や先生、または擁護者など、他の誰かにあなたのファイルを閲覧する権限を与えることもできます。

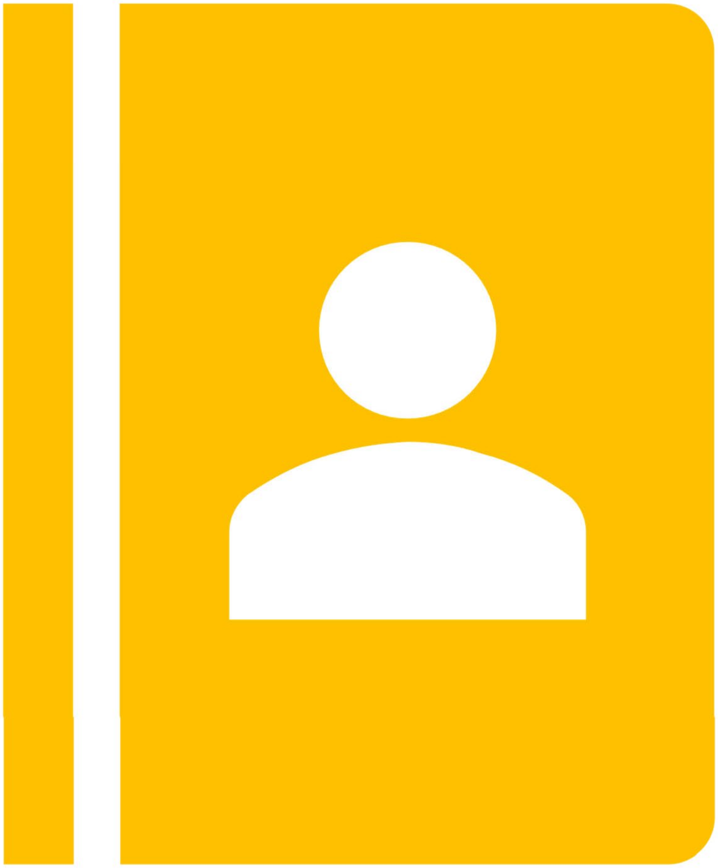
サービスコーディネーターに、あなたのファイルを見てもらったり、話し合ったり、または紙のコピーをもらったりするように依頼できます。これは書面で請求するのが最善です。地域センターは、あなたがファイルの閲覧を求めてから遅くとも3営業日以内にあなたにファイルへのアクセスを提供しなければなりません。ファイルのコピーをどのように入手するかはご自身で決めることができます。受け取りに行くよう依頼することも、メールや郵送で受け取ることもできます。ご自身のファイルで理解できないことがあれば、地域センターに説明を求めることもできます。ご自身のファイルで同意できない内容については、変更をリクエストすることができます。

ファイルのコピーが必要な場合、地域センターから料金を請求されることがあります。支払うことができない場合は、地域センターに伝えてください。無料で提供してくれます。

異議を申し立てた場合、異議申し立て手続き中どの段階でもご自身のファイルにアクセスすることができます。



5. 個別プログラム計画



サービスや支援を活用して目標達成の計画を立てるのに、
この書類がどのように役立つかを学びましょう。

私は地域センターのサービスを受ける資格があります。次のステップは何ですか？

サービスを受ける資格が認められた後、地域センターが継続的なサービスコーディネーターをあなたに割り当てます。サービスを受ける資格があると伝えた日から60日以内に、サービスコーディネーターがあなたに連絡をし、個別プログラム計画（IPP）を作成するための面談を設定します。あなたのIPPはあなたの生活のあらゆる分野について記載し、 必要なサービス や支援をリストにします。これらは、あなたが人生の目標を達成するために必要なものです。これらのサービスや支援は、地 域センターまたはその他の外部リソースによって支払われる場合があります。外部のリソースには、あなたの学校またはお住いの郡が提供しているサービスが含まれる場合があります。

サービスコーディネーターはどのように私を手助けしてくれますか？

あなたとサービスコーディネーターは、あなたの計画チームの一員です。サービスコーディネーターは、地域センターでの第一の連絡先です。

あなたのサービスコーディネーターは、あなたを手助けします：

- IPPミーティングの準備をしましょう
- 必要なサービスと支援を見つけましょう
- 目標を追跡し、目標達成の手助けをします
- あなたの保険、郡、公共またはコミュニティのリソースから他のサービスを探しましょう
- リソースや支援を得るために、ファミリーリソースセンターにご相談ください
- あなたのご質問には何でもお答えします

もし現在のサービスコーディネーターがあなたに合わない場合は、あなたとあなたの希望に合った新しいサービスコーディネーターをリクエストすることができます。あなたの地域センターは、あなたとサービスコーディネーターとの関係について、さらに詳しい情報を提供できるかもしれません。

個別プログラム計画（IPP）とは何ですか？

IPPは、あなたがIPP計画チームと一緒に作成する書面による計画です。この書類は本人中心の、あなたに関する情報が含まれています。それには、あなたの人生で起こっていること、あなたにとって重要なこと、そしてすべての目標や将来の計画のリストが含まれています。IPPには、あなたと計画

チームがその目標の達成に役立つと合意したサービスや支援のリストが含まれます。あなたとあなたの計画チームは、サービス内容と開始日を合意のうえで選びます。これには、初期サービスの紹介またはサービス提供者がまだ見つかっていない場合の推定開始日が含まれます。IPPミーティングは、あなたのニーズまたは目標が変わるたびに、何度でも行うことができます。あなたのサービスコーディネーターがこのプランを見てくれています。サービスコーディネーターに連絡すれば、いつでも計画チームとIPPミーティングを開催するよう依頼することができます。

私のIPP計画チームには誰がいますか？

あなたは計画チームで最も重要なメンバーです。あなたのサービスコーディネーターまたは地域センターの担当者も、あなたのIPPミーティングに出席します。このミーティングに出席しあなたのIPP計画チームの一員になることを希望する方を、どなたでも招待することができます。ご家族、法的保護者、後見人、認可された代理人、信頼できる友人、教師、サービス提供者、またはあなたが役立つと思うその他の重要な方々を招待することができます。あなたが望むことを伝えたり、あなたの権利が守られていることを確認したりするために、医師、友人、または擁護者に手伝ってもらうこともできます。

自分のIPPを作成するにはどうすればよいですか？

あなたはIPPミーティングで計画チームと一緒に自分のIPPを作成します。このミーティングは、あなたの都合の良い場所と時間で行われます。

IPP会議で人々が話すことを全員が理解することが重要です。誰かが言ったことをあなたが理解できない場合は、それについて説明してもらうように頼んでください。あなたが他の言語を話す場合は、通訳を依頼することができます。別の方法でコミュニケーションを取るように依頼することができます。IPPの書類をあなたが理解できる別の言語への翻訳も依頼することができます。

IPP には以下の情報が含まれます：

- あなたの目標や、あなたにとって大切な人生の分野
- あなたの目標を達成するために必要なサービスや支援

- あなたのサービスと支援のお手伝いをする人または会社（サービスプロバイダーと呼ばれる）
- サービスおよび支援の開始時期と終了時期
- サービスや支援を受ける期間と頻度
- サービスや支援の費用を負担する人

あなたに関する情報をサービス提供者と共有するための許可を、サービスコーディネーターがIPPミーティングの際にあなたに求める場合があります。これはリファーラルと呼ばれます。

私のIPPのタイムラインはどうなっていますか？

サービスを受ける資格を得た日から60日以内に、最初のIPPを完了しなければなりません。その後、IPPは少なくとも3年に一度見直されなければなりません。HCBS免除を利用している場合、または認可された介護付き住宅に住んでいる場合は、毎年IPPミーティングを行う必要があります。サービスコーディネーターに相談することで、いつでもIPPミーティングをリクエストすることができます。このミーティングは30日以内に行われます。

あなたのIPPのサービスや支援に同意できない場合は、15日以内に別のIPPミーティングを開くことができます。または、あなたと計画チームが決めた場合はそれ以降でも可能です。そのミーティングでは、あなたの計画チームが、目標達成のために役立つ他のサービスや支援について検討するお手伝いをします。それでも同意できない場合は、異議申し立ての手続きを開始することができます。異議申し立ての方法については、セクション8をご覧ください：意見の相違を解決する。

IPPをあなたが理解できる言語にするように依頼することができます。ご希望の言語でのIPPのコピーは、45日以内に受け取れます。

IPPに署名しなければなりませんか？

はい、あなた自身、またはあなたの法定保護者、または後見人が、サービスおよび支援を開始するためにIPPを承認し、署名する必要があります。すべてのサービスや支援に同意しなくても、IPPに署名することができます。あなたが同意したサービスや支援は、IPPに署名すると開始できます。その後、あなたが納得していない点について引き続き取り組むことができます。

あなたがIPPに署名した後、あなたとあなたの計画チームはサービスコーディネーターと協力してプロバイダーを選びます。サービスまたは支援によっては、選択できるプロバイダーが複数ある場合があります。リファーラルについての詳細は、サービスコーディネーターに問い合わせることができます。新しいサービスは、あなた、地域センター、そしてサービスプロバイダーの三者が何を行う必要があるかについて合意した時点で開始できます。これを設定するには時間がかかります。しかし、次のミーティングまで待ってから話題を持ち出す必要はありません。すぐに必要なものがある場合は、サービスコーディネーターに知らせてください。

IPPミーティングの終了時に、あなたとチーム全員が合意したサービスのリストが渡されます。サービスを開始できるように、そのリストに署名してください。

IPPはどのように変わりますか？

あなたのニーズや目標が変化するにつれて、IPPも変化します。署名後でもIPPの変更をリクエストすることができます。変更について話し合うための計画チームとのミーティングを設定するよう、サービスコーディネーターに連絡してください。IPPの計画チームは、あなたのプランの目標の進捗状況を確認し、必要に応じて変更を加えるために、どのくらいの頻度で会うかについて話し合います。

「どのようなサービスが利用可能かを知ることは非常に重要ですが、自分のニーズが何であり、何を達成したいのかを知ることはさらに重要です。私たちが自分たちの必要としていることを明確にすればするほど、サービスコーディネーターにとっても容易になります。

- 自己擁護者

6. サービスの利用

ご利用いただけるサービスや支援内容、
そしてその始め方についてご学びましょう。

地域センターから受けられるサービスや支援にはどのようなものがありますか？

あなたが受けるすべてのサービスと支援は、あなたのIPPでの目標達成に役立ちます。地域センターのサービスプロバイダーは、個人または企業である場合があります。あなたと面談した後、あなたの人生の目標をサポートする方法を知ることが彼らの仕事です。これらの地域センターのサービスプロバイダーは、ベンダーまたはプロバイダーとも呼ばれます。彼らは、近隣の地域センターで承認プロセスを経る必要があります。彼らは、あなたの年齢、文化、言語、アクセシビリティとニーズに合ったサービスや支援を提供することができます。サービスや支援には、以下が含まれる場合があります：

- コミュニティおよびデイプログラム
- 雇用
- 認可を受けた住宅型介護施設（グループホームまたは施設と呼ばれます）
- 支援付きまたは自立生活サービス
- 休息
- 社会的レクリエーションおよびキャンプサービス
- 個人およびご家族向けのトレーニングやクラス
- 交通手段

地域センターが提供する サービスの詳細についてはよく利用されるサービスを読むことができます。

地域センターからサービスや支援を受けるにはどうすればよいですか？

地域センターからサービスや支援を受ける方法にはさまざまなものがあります。あなたは自分にとって最適な方法を選ぶことができます。

- **従来のベンダーサービス**：あなたがIPPに署名した後、サービスコーディネーターはあなたを支援できるサービスベンダーを推薦または紹介します。引っ越しをした場合またはお住まいの地域にサービスがない場合は、別の地域センターまたは地域からのサービスプロバイダーを利用する必要があるかもしれません。その件については、あなたのサービスコーディネーターがお手伝いできます。

- **自らによる方向決定：**自らによる方向決定は、あなたが自分のサービスや支援、プロバイダーが誰か、そしてその方法について、より多くの選択肢と責任を持つことができる方法です。サービスの計画は、サービスコーディネーターと共に、本人中心の計画プロセスを通じて行われます。自らによる方向決定でのサービスや支援は、二つの異なる方法で行うことができます：
  - 参加者主導のサービス：一部のサービスや支援の種類において、誰を雇うか、いつ予定を組むか、どのように仕事を監督するかを選択できます。これらのサービスおよび支援は、自分の家、家族の家、そして一部の認可された介護施設に住んでいる方が利用できます。

  - 自己決定プログラム（SDP）：サービス計画の作成や、ニーズおよびIPP目標に合ったプロバイダーの選択において、さらに多くのコントロールを提供します。あなたは計画チームと協力して、予算と支出計画を作ります。その後、資格のあるサービス提供者、個人、または企業からサービス、支援、商品を購入することができます。SDPでは、州および連邦の要件を満たすご自身のプロバイダーを雇用するか、地域センターのベンダー登録されたプロバイダーを利用するか、または一部の地域サービスの費用を支払う必要があります。自己決定 プログラムに関する詳細および、よくある質問 についてはこちらで確認できます。

他にも利用できる公的およびコミュニティのリソースはありますか？

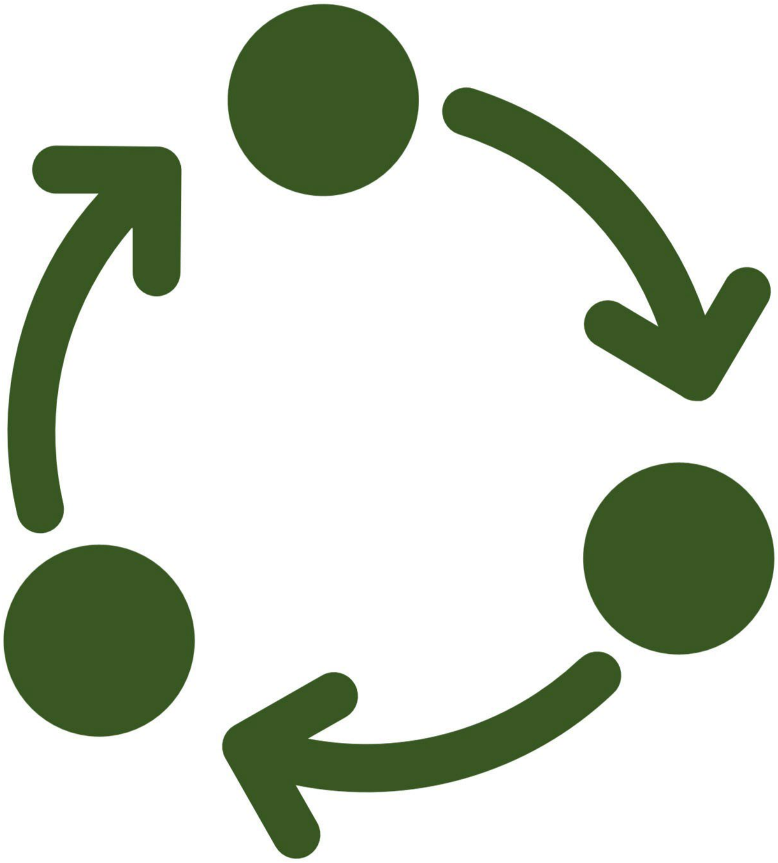
資格のある方ならどなたでも利用できる、基本的な生活の必要のためのリソースがいくつかあります。これらは市、郡、州、または連邦政府によって支払われています。その他の機関もこれらのリソースの費用を負担する場合があります。以下はその例です:

- カリフォルニア児童サービス
- 市、郡、州の住宅サービス（セクション8住宅、家賃補助など）
- コミュニティ法律サービス（リーガルエイドのようなもの）
- 郡および連邦の医療クリニック（連邦認定医療センターや地方医療クリニックなど）
- 郡のメンタルヘルスおよび／または行動衛生サービス

- 教育／学校（私立および／または公立）
- 食品および栄養プログラム（CalFresh、女性・乳幼児プログラム、フードバンク）
- 健康保険（Medi-Cal、Medicare、または民間）
- 在宅支援サービス
- 高齢者およびその介護者のための地域資源（地域高齢者支援機関）

知的および／または発達障害のある個人が、他の地域住民と同じように公共および地域サービスにアクセスする権利を有すると法律で定められています。これは、地域センターが他の誰かによってすでに支払われたサービスの費用を支払うことはできないことを意味します。地域センターは、未成年の家族をケアする際の家族の役割と責任を考慮します。サービスや支援が、最も制限の少ない環境で、障害のない子どもや若者のものとどのように異なるのか、または同じなのかを理解していただくよう地域センターからお願いします。

7. 人生のさまざまな段階で変化するサービス



成長し、人生のさまざまな段階を経る中で、
あなたのニーズがどのように変化するかを学びましょう。

サービスは人生を通じてどのように変化しますか？

年齢を重ねるにつれて、あなたのニーズは変化するかもしれません。このチャートは、人生のさまざまな年齢または段階で、適切なサービスや支援を見つけるのを誰が助けしてくれるかを示しています。

年齢	出生～3歳	3歳から22歳	22歳以上
人生の段階	*乳児と幼児*	*子ども、青年、若者*	*大人*
サービスおよび支援を提供するのは：	• Early Start • 教育／学区 • 地域センター* • その他の地方、州、連邦の公的プログラム	• 教育／学区 • 地域センター* • その他の地方、州、連邦の公的プログラム	• 地域センター* • その他の地方、州、連邦の公的プログラム

**地域センターのサービスは、年齢に関係なく受ける資格を得られる可能性があり、サービスは生涯にわたって継続されます。*

これらはいくつかの人生の変化の例です。

- Early Startの資格の可能性は3歳までです
- 暫定資格の可能性は5歳までです
- 地元の学区によって提供される教育サービスの資格の可能性は高校卒業後または22歳になるまでです。
- 学校が終わった後、デイプログラムに参加したりまたは仕事を得たいと思うかもしれません。
- 支援付きまたは自立生活サービスを希望されるかもしれません
- 自宅での生活を続ける、または認可を受けた介護付き住宅に入居することもできます。
- 年齢を重ねて健康状態が変化するにつれて、助けとなるサービスが必要になるかもしれません。

> *「この旅の全体像と、私たちがどこに向かっているのかを教えてください。なぜなら、私は息子が一生涯にわたるクライアントになることを知っており、人生のさまざまな段階で異なるサービスを受けることになると分かっているからです。」*
>
> - 親/保護者

子ども、青年、若者には何が起こりますか？

Early Startがほとんど、またはすべてのサービスをこの時点まで提供していたかも知れません。Early Startまたは暫定資格の後に地域センターのサービスの資格を得た場合、お子様には新しいサービスコーディネーターが割り当てられることがあります。今後は、サービスは学区または地域センターを含む複数の機関によって提供される場合があります。お子様が3歳になる少なくとも90日前までに、ご家族とサービスコーディネーターは、お子さんの学校の担当者と会い、移行計画を作成します。これは「移行計画会議」と呼ばれるものです。

この計画には以下が含まれます。：

- 必要に応じて、学区を通じてサービスを受ける方法
- お子様が他の地域センターのサービス資格がある場合
- お子様が地域のコミュニティプログラム、Medi-Cal、または他のプログラムによって支払われるサービスなど、他の公的サービスの資格がある場合

学校のサービスには、学校で日中に行われるすべてのことが含まれます。これには、授業に出席すること、新しいことを学ぶこと、友達を作ることなど、教育に関連することが含まれます。地域センターは、自宅の生活、または地域社会の一員となるために必要なサービスを提供します。一部の児童は、地域センターのサービスを引き続き受けることができますが、そうでない児童もいます。この時点で暫定資格について確認することもできます。

その子どもはこれから二つのプランを持ちます。

- 学区によって提供される学校サービスのための個別教育計画（IEP）
- 地域センターやコミュニティ、または公共サービスによって提供されるサービスのためのIPP

3歳以上のお子様向けに利用可能な地域センターのサービスには、以下のものがあります。

- 適応力および生活技能トレーニング
- 保護者向けトレーニングおよびカウンセリング
- パーソナルケア
- 休息
- 社会的レクリエーションおよびキャンプサービス
- トイレトレーニングのサポート
- 交通手段

子ども向けのサービスは、年齢を重ねるにつれて変更される場合があります。サービスコーディネーターとニーズについて話し合ってください。お子様が地域センターのサービスを受ける資格がある場合、地域センターはIPPに記載されているサービスや支援を引き続き提供します。

高校を卒業する前に、もう一つの移行があります。サービスコーディネーターは、利用可能な地域のリソース、サービス、および高校卒業後に何をするかについての選択肢に関する情報を用意します。一部の人は18歳で高校を卒業し、高校の卒業証書または修了証を取得します。その他の人は、大学や職業訓練、または継続教育など、学校を続けたいと思うかもしれません。これらの教育サービスは、あなたが卒業証書を取得するか、修了証を受け取るか、または22歳になるまで継続されます。

学校を卒業した後は、ほとんどのサービスや支援を地域センターを通じて受けることになるかもしれません。あなたのサービスコーディネーターは、短期および長期の目標に向けた人生の決断を助けるために、選択肢を提供します。学校終了後に利用できるサービスには、以下のようなものがあります。

- 雇用サービス
- デイプログラム
- 自立生活プログラム
- モビリティ・トレーニング
- パーソナルケア
- 認可された住宅型介護施設の選択肢
- 特殊な交通手段
- 社会的およびレクリエーションサービス

大人の場合はどうなりますか？
学校卒業後に提供されるサービスに加えて、サービスコーディネーターはあなたが大人になるにつれて引き続き面談を行い、短期および長期の目標を更新します。サービスは、あなたのIPPに基づくニーズに応じて、住居、就職、交通手段、人間関係の構築、そして医療の受診のために利用できます。

人生のさまざまな段階へと移行するにつれて、あなたのニーズや目標も変化する可能性があります。これらの変化に対応するために、IPPが更新されます。高齢者の方をサポートするための追加サービスには、次のようなものがあります：

- 高齢者ケア
- 適応機器を入手または使用する
- 健康診断
- あなたの福利厚生に関するお手伝い
- 看護サービス
- 高齢の介護者のための計画
- 人間関係構築

8. 意見の相違を解決する

決定に同意できない場合の対処方法や、
どこで支援を受けられるかについて学びましょう。

地域センターに同意できない場合はどうなりますか？

あなた、またはご家族が時には地域センターの決定に同意できないことがあるかもしれませんが、それでも大丈夫です。

意見の不一致の例としては、次のようなものがあります：

- あなたの地域センターは、IPPサービスの受給時間数を変更したいと考えています。あなたはサービス時間を同じままにしておきたいと考えています。
- あなたは地域センターに新しいサービスを依頼しました。地域センターは、そのサービスは必要ないと言いました。
- あなたは地域センターのサービスを申し込みました。地域センターは、あなたには資格がないと言いました。
- あなたはすでに地域センターのサービスを受けています。地域センターは、あなたはもはや資格がないと言いました。

あなたとリージョナルセンターが合意しない場合、通知書（NOA）が届きます。地域センターがNOAを送付します。NOAには、その決定の理由が述べてあります。NOAの受け取り方法について、地域センターに伝えてください。メール、普通郵便、または受け取り証明に署名をする証明付き郵便のいずれかを選択できます。異議申し立ての後、5営業日以内に手紙が届きます。NOAは決定が行われる日付を知らせます。NOAにはあなたの異議申立ての権利が記載されており、異議申立て申請書が添付されています。

あなたと地域センターがあなたのサービスまたは資格に関する決定について合意した場合、通知書（NOA）は届きません。これらの合意は、相互同意と呼ばれます。すべての合意は書面で行わなければなりません。あなたの地域センターから、あなたの同意を確認する手紙が届く場合があります。これは「誠意書」と呼ばれます。

時には、あなたとサービスコーディネーターが話し合いをして、あなたに合った解決策を見つけることができます。そうでない場合には、異議申し立てを開始したいこともあるかもしれません。あなたは、異議申し立てを開始するためにDDSに 異議申立て申請書 を提出します。あなたのNOAには、異議申立て申請書も含まれています。

異議申し立てとは何ですか？

異議申し立てとは、地域センターが下した決定に同意できない場合に開始する手続きです。これは、地域センターのサービスの受給資格や、受けられるサービスの種類または量に関する決定である可能性があります。

> *「異議申し立てがシステムを通過するには少し時間がかかります。時には、関係のない第三者が答えを決める必要があることもあります。」*
>
> - 家族権利擁護者

誰が私の異議申し立てを手伝ってくれますか？

あなたには、異議申し立ての際に誰かに助けてもらったり、またはサポートを受けたりする権利があります。それはあなたのサービスコーディネーターや、または地域センターのスタッフである場合もあります。それは弁護士であっても、またはそれ以外の人であってもかまいません。それははあなたの代理人の場合もあります。あなたの同意の上であなたの認定代理人があなたの異議申立てに関する情報を受け取ります。

あなたは、弁護士または他の誰かに異議申し立ての準備を手伝ってもらうことができます。あなたの異議申し立てのいかなる部分でも弁護士が同席することができます。弁護士が調停または審問に出席する場合は、事前に地域センターに連絡しなければなりません。弁護士の支援を受けることについての詳細は、ランターマン法の資格 & サービス異議申立て手続きに記載されています。

リソースは、プロセスのあらゆる部分をナビゲートするのに役立ちます。これには、以下のサポートが含まれます：

- 異議申し立て
- 法律とあなたの権利を理解する
- 地域センターのサービスを受ける方法を学ぶ際に生じる一般的な質問

利用可能なリソースには以下が含まれます：

- DDSオンブズパーソン事務局
- OCRA（Office of Clients' Rights Advocacy）
- ファミリーリソースセンター（FRC）
- カリフォルニア州発達障害評議会（SCDD）
- その他のリソース

DDSオンブズパーソン事務局：自己決定プログラムを含む地域センターのサービスについての情報を提供します。

DDSオンブズパーソン事務局は、以下のことができます：

- 異議申し立て手続きについての情報を提供します
- あなたの申し立てに関して受け取る書類について理解するのをお手伝いします
- 異議申し立て申請フォームの記入方法をお教えします
- あなたの苦情を聞きます
- あなたの意見の相違について地域センターと話し合うための面談の設定をお手伝いします。

DDSオンブズパーソン事務局は、以下のことはできません：

- 誰が正しくて誰が間違っているのかを決める
- 異議申し立て手続きであなたの代理となる
- 裁判所または審問官に自分の意見を述べる
- 最終審理の決定を変更する

OCRA（Office of Clients' Rights Advocacy）地域センターからサービスを受けている方に、無料で法律情報、アドバイス、および代理を提供します。彼らはまた、地域センターのサービスを受ける資格を得ようとしている人々も支援しています。OCRAは、カリフォルニア州内のすべての21の地域センターで人々を支援しています。彼らはあなたの権利を理解し、他の機関からサービスを受けるのを手助けしてくれます。OCRAはDisability Rights Californiaの一部であり、 OCRAはDDSによって資金提供されています。

OCRAは次のことができます：

- あなたがサービスを受ける援助
- 権利やサービスに関する情報の提供
- 異議申し立て手続きについての情報の提供
- 地域センターから受け取った情報の確認
- 控訴申立書の記入の手伝い
- 会議や公聴会であなたの代理となる

ファミリーリソースセンター（FRC）：個人や家族にサポートとリソースを提供します。カリフォルニア州全域に、多くのFRCがあり、地域のリソースやサポートを提供しています。

あなたのFRCは次のことができます：

- 発達障害を持つ子どもの親および発達障害を持つ成人をスタッフとして配置する
- あなたと同じような経験をしている他の個人または家族とあなたをつなげる
- 地域センターのサービスを利用している方または親／保護者の方とあなたをつなげる
- 発達の遅れや障害に関する情報を提供する
- 地域センターに関する情報とサービスの受け方についての案内
- 役立つ他の地域のリソースに関する情報提供
- 地域センターとの意見の相違を解決するための異議申し立て手続きや、取るべきステップについての情報提供

SCDD（州発達障害評議会）：これは、障害を持つ人やその家族の生活をより良くするために活動している州の機関です。彼らはあなたが地域センターについて学ぶお手伝いをします。カリフォルニア州内には12の地域事務所があるので、お近くの事務所を見つけることができます。

その他のリソース：あなたの地域センターは、他にもあなたを支援できる地元のサポートグループまたはコミュニティ団体を知っているかもしれません。詳しい情報については、地域センターのサービスコーディネーターまたは他の地域センタースタッフにお問い合わせください。

これらのリソースへの連絡方法については、セクション9に記載されています。
追加のリソースと支援。

異議を申し立てるための期限はいつまでですか？

異議申立ての申請は期限内に行う必要があります。知っておくべき締め切りが二つあります。最初のものは30日後、二つ目は60日後に期限があります。

1. 異議申立て中も現在のサービスを継続するためには、NOAを受け取ってから30日以内、かつ措置が実施される前に申し立てを行う必要があります。異議申し立て中に現在のサービスを継続することは、「保留中の援助支給（aid paid pending）」と呼ばれます。
2. あなたの異議申し立てがNOAを受け取ってから31日から60日の間に提出された場合、地域センターの決定はあなたの異議申し立てが継続している間に行われます。

異議申し立て手続において私にはどのような法的権利がありますか？

異議申し立て中には特定の権利があります。権利については、あなたのNOAに記載されています。

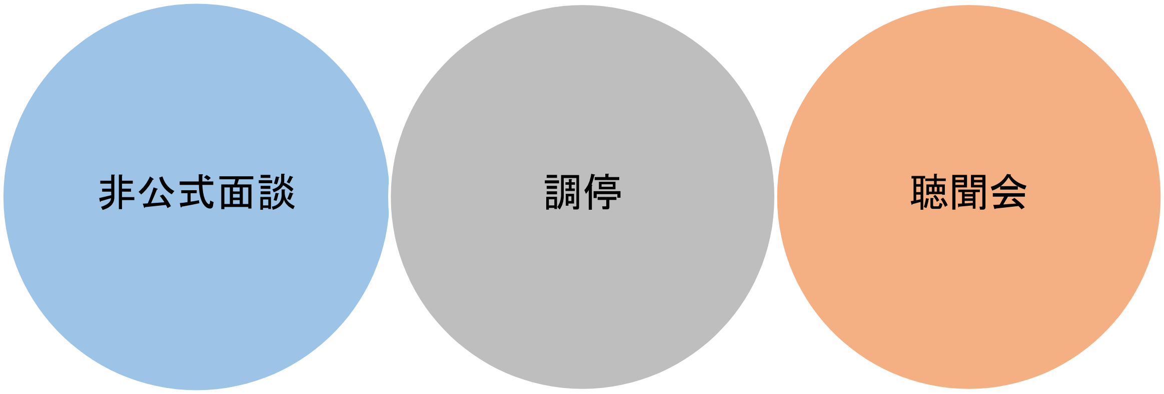
異議申し立て手続きのすべての段階において、あなたは自分が知っていて理解できる言語で情報を受け取る権利があります。あなたのNOAおよび異議申し立てフォームもこれに含まれます。あなたは、控訴のすべての過程で通訳者を付ける権利もあります。通訳者は、効果的に、正確に、そして中立的に通訳できなければなりません。地域センターは、あなたの非公式な面談に通訳者を手配します。ヒアリングオフィスは、あなたの調停および聴聞会のために通訳者を手配します。

異議申し立て中のあなたの権利 について、あなたの権利の詳細を読むことができます。

異議申し立て手続き中には何が起こりますか？

異議申し立て手続きは三つの方法から成り立っています。これらのうちひとつ、またはそれ以上を利用することができます。異議申し立て申請フォームで利用したい方法を選択してください。一つの方法を利用して意見の不一致が解決しない場合、他の方法の利用を決めることができます。

異議申し立て手続きの三つの方法は次のとおりです。



1. 非公式面談：あなたは、地域センターのディレクターまたは彼らに指名された人と面会します。あなたと地域センターは、あなたの異議申し立てを解決する努力をします。

2. 調停：あなたと地域センターは、調停者と面会します。調停者は中立的な立場の人であり、地域センターの職員ではありません。調停者は、あなたと地域センターが地域センターの決定について合意に達するのを手助けします。同意しない場合は、異議申し立て手続きの他の方法を利用することができます。

3. 聴聞会あなたの聴聞会は審問官が担当します。審問官は地域センターの職員ではありません。審問官は、あなたからの情報と地域センターからの情報を聞きます。審問官は、あなたが事実を述べる手助けをします。審問官は、聴聞を公正かつ非公式に行います。その後、審問官があなたの異議申立てにおける問題について決定を下します。

異議申し立てを完了するための期限はいつですか？

異議申し立ては、DDSがあなたの異議申し立て申請書を受理してから90日以内に完了しなければなりません。これらの期限は、あなたまたは地域センターが継続（延期）を要求した場合、さらに延長される可能性があります。

期限の詳細については、異議申し立て手続きの期限をご確認ください。

地域センターまたはサービス提供者から不当な扱いを受けたと感じた場合、どこに苦情を申し立てればよいですか？

地域センターやサービス提供者があなたの権利を拒否または法律に従わなかったと思われる場合は、セクション4731の苦情を申し立てることができます。苦情の例は次のとおりです：

- 私に対する守秘義務が破られた
- 私のIPPに記載されているサービスを受けなかった
- サービスオプションを選択する権利が与えられなかった
- リクエストから30日以内にIPPが予定されなかった。
- 45日以内にIPPのコピーを受け取らなかった。
- 友達を自宅に招くことを許されなかった。
- 私のプライバシーが侵害された

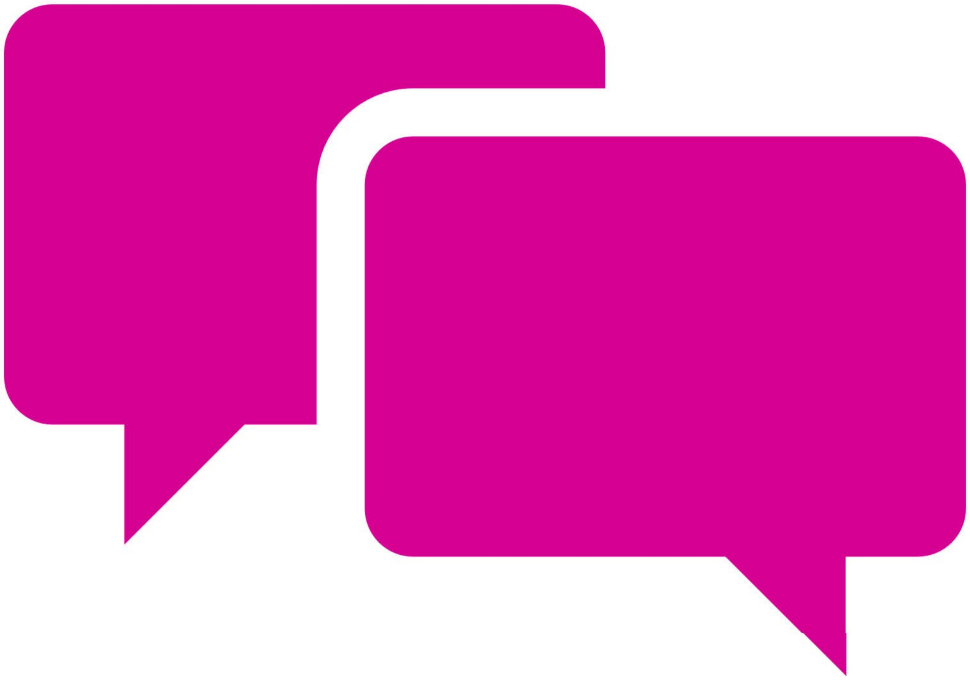
あなたの4731苦情は地域センターに提出されました。地域センターは、20営業日以内にあなたの苦情を調査し、決定をお伝えします。

地域センターの決定に同意できない場合は、DDSに再審査を依頼することができます。地域センターの決定についての再審査は15営業日以内にDDSに依頼しなければなりません。DDSは45日間以内にあなたに返答する必要があります。

4731件の苦情に関する詳細情報や、DDS異議申し立ての連絡先情報は、DDSのウェブサイトで消費者の権利、異議申し立て と 苦情にて確認できます。

本書類は情報提供のみを目的としており、法的助言をするものではありません。お住まいの地域センターから提供される追加情報とともに、これを資料としてご利用ください。

9. 追加のリソースと支援



重要な情報または手助けをしてくれるかもしれない人への連絡方法などを書き留めておくためにここをお使いください。

連絡先

地域センターを見つけるには、DDSのウェブサイトにアクセスし、検索ウィンドウに郵便番号を入力してください。*ロサンゼルス郡の郵便番号を検索するには、[LA郡] タブをクリックします。*

このリストを使って、地域センターの連絡先情報を一箇所にまとめておきましょう。

私の地域センター

名前：

電話番号：

電子メール（代表）：

私のサービスコーディネーター

名前：

電話番号：

電子メール：

私のサービスコーディネーターの上司

名前：

電話番号：

電子メール：

私の地域の家族リソースセンター

FRC名：

私の連絡担当者：

電話番号：

電子メール：

発達サービス局

ウェブサイト

電話番号：833-421-0061

電子メール：info@dds.ca.gov

オンブズパーソン事務局

ウェブサイト

電話番号：877-658-9731

電子メール：Ombudsperson@dds.ca.gov

クライアント権利擁護局

州全域の連絡先情報

ウェブサイト

電話番号：800-776-5746

TTY：800-719-5798

私の地域のクライアント権利擁護事務所

私の連絡担当者：

電話番号：

電子メール：

Disability Rights California（ディスアビリティ・ライツ・カルフォルニア）

ウェブサイト

電話番号：800-776-5746

TTY：800-719-5798

State Council on Developmental Disabilities (SCDD)（州発達障害者支援評議会）

ウェブサイト

電話番号：(916) 263-7919

無料ダイヤル：(833) 818-9886

私のSCDD（州発達障害評議会）地域事務所

私の連絡担当者：

電話番号：

電子メール：

地元のリソース

リソース名	連絡先	リソースの内容
Memorial Care Miller Children's and Women's Hospital メモリアル・ケア ミラー小児・産婦人科病院	www.millerchildrens.memorialcare.org 562-933-5437 2801 Atlantic Ave. Long Beach, CA 90806	小児および若者の小児科医療、および妊婦の産科医療を専門としています。
Learning Rights Law Center 教育に関する人権を専門とする法律事務所	www.learningrights.org 213-489-4030 1625 W Olympic Suite 500 Los Angeles, CA 90015	ご両親との面談、カウンセリング、助言を提供し、お子様の教育に関する問題に対処するための個別の行動計画の策定を補助します。また、無償かつ適切な公教育（FAPE）を受ける権利を行使できるように、直接の代理人としてのサポートも提供できます。
In-Home Supportive Services（IHSS） 家庭内サポート・サービス（IHSS）	www.cdss.ca.gov 866-376-7066	対象となる高齢者、視覚障害者、および身体障害者に、家庭外ケアに代えて家庭内での補助を提供し、受給者が安全に自宅で生活することを可能にします。オンラインでお申し込みができます。
Cal ABLE	www.calable.ca.gov 833-225-2253	障害のある個人向けに California 州が提供する貯蓄／投資プランです。このプログラムにより、個人は公的給付の受給資格を失わずに貯蓄ができるようになります。

TASK – Southern California's Parent Training and Information Center 南カリフォルニア育児トレーニング・情報センター	626-300-1043 1000 S. Fremont Ave. Bldg A-1, Ste. 1110, Unit 54 Alhambra, CA 91803	個人別教育計画（IEP）のプロセスと IEP 文書の確認方法に関するトレーニングを提供し、社交技能および自己擁護の技能を習得するための青少年プログラムを提供し、補助技術ソリューションを推奨し、サポートグループやその他の有用な機関を紹介します。
Los Angeles County Department of Children and Family Services （DCFS) ロサンゼルス郡 児童家族サービス局 (DCFS)	800-540-4000	地域内の他のパートナーと緊密に連携し、若者のケアと困窮している家族の支援に取り組んでいます。児童たちの保護という共通の目標を持つ支援団体と提携しています。危機に瀕した児童と家族を、安全、幸福、そして永続性という三つの主要分野に焦点を当てて支援しています。
Bet Tzedek Free Legal Services for Los Angeles, Your Legal Advocates ベッツェデク ロサンゼルスのための 無料法律サービス 皆様の法律アドボケート	323-939-0506 3250 Wilshire Blvd. 13th floor Los Angeles, CA 90010	さまざまな法的問題に関する教育と直接的な代理業務を提供し、特に後見制度を求めている家族やサポート付き意思決定オプションを検討している家族に指導を提供します。

California Children's Services（CCS） カリフォルニア 児童サービス局）	(800) 288-4584 9320 Telstar Avenue Suite 226 El Monte, CA 91731	CCS のプログラムは、CCS の対象となる疾患を持つ 21 歳未満の児童たちに、診断／治療サービス、機器、医療ケース・マネジメント、物理療法／作業療法サービスを提供します。 CCS は、公立学校で提供される医学療法サービスも提供しています。
ファミリー・リソース・センター（FRC）	Harbor – Family Resource Center（Torrance） 21309 Hawthorne Blvd. Torrance, CA 90503 (310) 543-0104 resource.center@harborrc.org Harbor – Family Resource Center（Long Beach） 1155 East San Antonio Dr. Long Beach, CA 90807 (310) 543-0105 resource.center@harborrc.org Harbor – Family Resource Center (Norwalk) 12110 Walnut Street, Norwalk, CA 90650 (562) 526-2115	マルチメディア情報とリソース、教育、トレーニングの資料と機会、そして親同士のサポートグループと活動を通じて、サポート、情報、および選択肢を提供します。

	Carolyn Kordich Family Resource Center 1135 257th Street Los Angeles, CA 90710 (310) 325-7288 deborba@ckfrcenter.org Long Beach Family Resource Center (Miller Children's Hospital) 2801 Atlantic Avenue, Long Beach, CA 90806 (562) 933-8048 bmacias@memorialcare.org	
LA County Department of Mental Health （DMH）：SALT 8 （Service Area Leadership Team） ロサンゼルス郡精神衛生局：SALT8（サービスエリア・リーダーシップチーム）	(562) 256-7717 alee@dmh.lacounty.gov 2600 Redondo Ave, 6th Floor, Long Beach, CA 90806	米国最大の公立精神衛生機関である LACDMH は、最も脆弱な住民がケアと治療を確実に受けられるように支援しています。SALT 8 の関係者は、文化的サービスを受けていない人、十分なサービスを受けていない人、そして代表者数が不十分であるコミュニティーのメンバーを含めて、各コミュニティーとの連携とアウトリーチ活動を行い、知識の共有と合意形成を通じて、共通の目標に向けて協力して行きます。

Department of Rehabilitation（DOR） リハビリテーション局（DOR）	(424) 488-6570 21250 Hawthorne Blvd. Ste. 220. Torrance, CA 90503 Disabled Resources Center, Inc（DRC） 2750 East Spring St. Suite 100, Long Beach, CA 90806 (562) 427-1000	個人たちと協力して、障害を持つ個人の雇用につながるサービスおよび擁護活動を提供します。
LA County Probation LA 郡保護観察局	(213) 687-8727 bobbyv@sclarc.org	法医学的処置に従事してきた個人たちの LA 郡刑務所内での収容を容易にし、一般収容者グループから発達障害者収容者グループへと移送されるようサポートします。このサポートは、サービス・コーディネーターが必要なオンライン会議を調整することに役立ちます。

Adult Protective Services 成人保護サービス	(877) 477-3646	身体的、精神的、または経済的な虐待の疑いがある報告の調査により、サポートを提供します。
ACCESS	(213) 270-6000 www.accessla.org P.O. Box 5728 El Monte, CA 91734	ACCESS は、特定の障害者の方々に対し、ADA に基づく補完的なパラトランジット・サービスの提供を促進します。パラトランジットとは、固定されたルートや時刻表に従わない、柔軟な旅客輸送手段の代替モードです。ADA に基づく

		補完的なパラトランジットは、バリアフリーの公共路線バスや電車に乗車できない障がい者用に、連邦政府が強制している市民の権利です。
Housing and Urban Development（HUD） 住宅／都市開発局（HUD）	(213) 894-8000 300 North Los Angeles Street Ste. 4054 Los Angeles, CA 90012	住宅補助とコミュニティー開発プログラムを提供する連邦機関です。強固で持続可能、かつ包括的なコミュニティーと、すべての人にとって質の高い手頃な価格の住宅の創出を目指しています。

Early Startプログラムからの移行に関するその他の情報

カリフォルニア州のリソース：

リソース名	連絡先	提供されている情報
乳幼児期特別支援教育からの移行に関するハンドブック Handbook on Transition from Early Childhood Special Education	CDE（カリフォルニア州教育省） 電話番号：916-319-0800	就学前の子どもたちがEarly Startから特別支援教育へ移行する際に役立つ情報やリソース。
効果的な乳幼児期の移行：三歳児移行ガイド — Early Startプログラムからプリスクールへの移行 Effective Early Childhood Transitions: A Guide for Transition at Age Three – Early Start to Preschool	DDS（発達障害局） 電話番号：800–515–BABY (800–515–2229) 電子メール：earlystart@dds.ca.gov	スムーズな移行に関する情報および、3歳でEarly Startから他のサービスへ移行する際に家族とその子どもたちをどのように支援するかについての情報。
Early Startプログラムからの移行：IFSPからIEP/IPPへ Transitioning out of Early Start from the IFSP to IEP/IPP	PHP（ペアレンツ・ヘルピング・ペアレンツ） 電話番号：855-727-5775	Early Startプログラムからの移行に関するビデオ
早期介入 Early Intervention	SCDD（州発達障害評議会）-サンバーナーディーノ事務所 電話番号：909 890-1259 電子メール：sanbernardino@scdd.ca.gov	移行プロセスとタイムラインに関するプリント
ファースト5 カリフォルニア First 5 California	電話番号：916-263-1050 電子メール：info@ccfc.ca.gov	First 5 Californiaは、包括的な教育、健康関連サービス、児童養育支援、その他の重要なプログラムのシステムを通じて、カリフォルニア州の児童とその家族の生活の改善に取り組んでいる団体です。

リソース名	連絡先	提供されている情報
成長を助けて Help Me Grow	ヘザー・リトル、教育学修士（M.Ed.） システムディレクター 510-227-6967 heather@first5association.org	家族の子どもの発達ニーズを特定し、地域で開発されたリソースおよび紹介システム。それ は、最適かつ迅速に適切なサービスへアクセスできるために必要なケアの調整を提供します。教育ニーズを早期に発見するためのリソース、ツール、および最善の対策を共有するために作られたプログラムがあります。これらのプログラムは、家族がカリフォルニア州の幼児期ケアシステムについて学び、その利 用方法を理解するのに役立ちます。
2-1-1	電話番号：211	「2-1-1」は、24時間年中無休で地域の医療や福祉サービスと州民をつなぐ無料の情報および紹介を提供するサービスです。

学齢期および成人向けサービスに関するその他の情報

カリフォルニア州のリソース：

リソース名	連絡先	提供されている情報
地域高齢者支援機関（AAA） Area Agencies on Aging	カリフォルニア州高齢者局 電話番号：800-510-2020	高齢者および障がいのある成人へのサービス。
カリフォルニア州学校名簿 California School Directory	CDE（カリフォルニア州教育省）	カリフォルニア州の公立および私立学校名簿。
家族の関与 & パートナーシップ Family Involvement and Partnerships	CDE（カリフォルニア州教育省） 電話番号：916-319-0800	障害のある児童の親/保護者および家族向けのリソースと支援
懸念される理由 Reasons for Concerns	カリフォルニア州教育局と発達サービス局の協力による	発達や行動に関する心配や懸念の理由、そしてそれらを医師または地域センターにどのように説明すればよいかについての情報。

リソース名	連絡先	提供されている情報
自立生活センター Independent Living Centers	リハビリテーション局 電話番号：800-952-5544 TTY：916-558-5673	より自立した生活を望む障害のある方のための情報。
カリフォルニア州の親/保護者センターの検索 Find Your Parent Center in California	CPIR（親/保護者向け情報およびリソースセンター） 電話番号：973-642-8100	PTI（保護者研修および情報センター）とCPRC（コミュニティ保護者リソースセンター）へのリンク。PTIとCPRCは、特別支援教育（Early Startプログラムを含む）に関する情報、リソース、研修を提供します。
地域センター Regional Centers	DDS（発達障害局） 電話番号：833-421-0061 電子メール： info@dds.ca.gov TTY：711	地域センターに関する情報および発達障害に関するその他の情報
地域センターのサービスと概要 Regional Center Services and Descriptions	DDS（発達障害局）	年齢層ごとに地域センターを通じて利用できるサービスの一覧（英語および他の言語で提供）、およびその他のサービス関連情報へのリンク。
自己決定プログラム： Self-Determination Program	DDS（発達障害局）	自己決定プログラムに関する一般情報および自己決定プログラムに関するよくある質問。
特別支援教育 Special Education	ディスアビリティ・ライツ・カルフォルニア（DRC） 電話番号：800-776-5746 TTY：800-719-5798	特別支援教育に関する一般的なリソース
FRCNCA つながろう FRNCA Get Connected	ファミリーリソースセンター	ファミリーリソースセンター（FRCS）ネットワークの地図と、それぞれの連絡先情報。
ファミリー・エンパワーメントセンター Family Empowerment Centers	シーズ・オブ・パートナーシップ（協力関係の種） 電話番号：916-228-2388	3歳から22歳までの障がいのある子どもや若者を持つ家族むけのカリフォルニア州における研修および情報提供。

全米のリソース：

リソース名	連絡先	提供されている情報
保護者 と 家族 Parents and Families	U.S. Department of Education（米国教育省） 電話番号：202-245-7459	カリフォルニア州だけでなく、全米の特別支援教育に関する家族向けリソース

医療および社会福祉サービスの詳細について

カリフォルニア州のリソース：

リソース名	連絡先	提供されている情報
個人向けMedi-Cal Medi-Cal for Individuals	DHCS（保健医療サービス局） Medi-Calヘルプライン 800-541-5555 電話番号：916-636-1980	Medi-Calに関する情報
社会福祉局 Department of Social Services	Department of Social Services（社会福祉局） 電話番号：916-651-8848	さまざまなサービス（在宅支援サービスを含む）に関する情報
すべての人のための精神衛生 Mental Health for All	カリフォルニア州	無料の精神衛生サポート、ウェルネスリソース、感情的サポートなどに関する情報。
カリフォルニア家族の声（FVCA） Family Voices of California (FVCA)	カリフォルニア家族の声 電話番号：(415) 282-7494	家族が子どもの医療に関して十分な情報に基づいた意思決定を行うための情報と支援。

全米のリソース：

社会保障庁（連邦） Social Security Administration (Federal)	Social Security Administration（社会保障庁） 電話番号：800-772-1213	補足的保障所得（SSI）と社会保障に関する情報

親/保護者の権利に関するその他の情報

カリフォルニア州のリソース：

リソース名	連絡先	提供されている情報
親/保護者の権利： Parents' Rights	CDE（カリフォルニア州教育省） 電話番号：916-319-0800	権利と手続的保護措置に関する情報
ランターマン法 消費者ガイド A Consumer's Guide to the Lanterman Act	DDS（発達障害局）	ランターマン法が約束する内容、人生の選択をする際に地域センターやその他のサービス提供者とどのようにパートナーシップを築くかについての情報、そして必要なサービスや支援を受けるためのアイデアの提供。
異議申立て & 苦情 Appeals & Complaints	DDS（発達障害局）	消費者、家族、業者、および提供者向けの、異議申し立てや苦情の申し立て方法に関する情報。
オンブズパーソン事務局 Office of the Ombudsperson	DDS（発達障害局） 電子メール：Ombudsperson@dds.ca.gov 電話番号：877-658-9731	ランターマン法の下で利用可能な地域センターのサービスにアクセスするための、自己擁護者および家族向けの情報。
自己決定プログラムオンブズパーソン事務局 Office of the Self-Determination Program Ombudsperson	DDS（発達障害局） 電子メール：SDP.Ombudsperson@dds.ca.gov 電話番号：877-658-9731	自己擁護者やご家族が自己決定プログラムに参加するための情報。
特別支援教育の権利と責任（SERR） Special Education Rights and Responsibilities (SERR)	ディスアビリティ・ライツ・カルフォルニア（DRC） 電話番号：800-776-5746 TTY：800-719-5798	特別支援教育を受ける資格を取得する方法、特別支援教育サービスの要求と擁護を行う方法、学区の方針に同意できない場合の対処法。

リソース名	連絡先	提供されている情報
行政審判局について About the Office of Administrative Hearings	電子メール：DGSOAHFeedback@dgs.ca.gov 電話番号：916-263-0550	調停および／または聴聞の申請は、行政審判局（OAH）で行われます。聴聞担当官は情報を収集し、書類を確認し、証言を聞き、そして決定を下します。
ランターマン法に基づく権利（RULA） Rights Under the Lanterman Act (RULA)	ディスアビリティ・ライツ・カルフォルニア（DRC） 電話番号：800-776-5746 TTY：800-719-5798	ランターマン法に基づく支援とサービスに対する権利および地域センターとサービス提供者に関する権利を理解する上で有益となる情報や支援

全米のリソース：

リソース名	連絡先	提供されている情報
障害者権利教育・擁護基金 Disability Rights Education and Defense Fund	電子メール：earlystart@dds.ca.gov 電話番号：510-644-2555	障害のある方や障害のあるお子様を持つ保護者のための、研修、教育、法的支援に関する情報。

10. 一般的に使われる用語

よく耳にするまたは目にする単語やフレーズについて学びましょう。

擁護者（アドボケイト）(Advocate):
擁護者とは、あなたの利益に関して代表する人のことです。この人は、必要に応じて面談に出席したり、または正式な依頼書を書いたり、提案を行ったりするなど、必要に応じて手助けや援助をします。誰でも擁護者になることができますが、多くの場合、この人は弁護士ではなく、法的助言を提供することはありません。

擁護（アドボカシー）(Advocacy):
自己擁護者または家族の利益や権利を支援する行為。

アメリカ手話（ASL）(American Sign Language [ASL]):
ASLは、手や顔の動きを使う視覚的な言語です。

アメリカ障害者法（ADA）(Americans with Disabilities Act [ADA]):
個人の障害に基づく差別を禁止する連邦法。

異議申し立て (Appeal):
地域センターの決定変更を求めるためのDDSへの書面による申請。

応用行動分析（ABA）(Applied Behavior Analysis [ABA]):
自閉症の人々に対する一般的な行動介入。ABAとは、社会的および実用的な行動を改善するために行動修正対策を用いることを指す一般的な用語です。ABAという用語は、行動介入と進捗の測定の両方に使用されます。

適応器具 (Adaptive Equipment):
日常生活のあらゆる作業を支援するために使用されるあらゆる装置、道具、または機械。

支援テクノロジー (Assistive Technology):
あなたのスキルを高め、維持し、または向上させるために使用されるあらゆる用品、機器、または手段。

評価または審査 (Assessment or Evaluation):
地域センターを通じてサービスの資格があるかどうか、またどの程度のサービスが必要かを判断する方法です。これらは地域センターの受付スタッフによって調整されます。これは、あなたの学習ニーズ、強み、興味についての情報を収集する ことも含まれます。あなたは次の点について評価される可能性があります：

- 独自のニーズと強み、および必要なサービス
- リソース、優先事項、および懸念事項
- あなたの生活を向上させるために必要なサービスと支援

自閉症（自閉スペクトラム症またはASDとも呼ばれる）(Autism [also called Autism Spectrum Disorder or ASD]):

その人が他者とどのようにコミュニケーションを取り、関わるかに影響を与える複雑な発達障害です。自閉スペクトラム症またはASDは、「自閉症」という言葉の代わりによく使われる用語であり、自閉症が人によって異なる影響を及ぼすことを認識しています。これは「スペクトラム」障害と見なされています。

脳性麻痺（またはCP）(Cerebral Palsy [or CP]):
出生前、出産時、または出生直後に脳に何らかの外傷や損傷が生じ、その結果、筋肉の制御や協調運動に困難が生じる発達障害です。

コミュニケーション (Communication):
は、会話だけではない意思疎通の手段です。それは、音、言葉、またはボディランゲージのような身体的なヒントを通じて、ある人から別の人へ送られるあらゆる形のメッセージです。

守秘義務 (Confidentiality):
あなたの個人情報が、あなたの許可（口頭または書面）なしに、または法律で許可または要求されている場合を除き開示されない権利。

同意またはインフォームド・コンセント (Consent or informed consent):
通常は書面で、プログラムまたは機関に与える許可。同意は常に自発的なものであり、いつでも取り消すことができます。

消費者または自己擁護者 (Consumer or Self-Advocate):

地域センターのサービスを受けている発達障害のある方。

消費者擁護者 (Consumer Advocate):
地域センターで働く発達障害のある人彼らはでききることは、：

- あなたが幸せで、健康で、安全でいるかどうかを確認するためにあなたと話すこと。
- あなたをサポートし、擁護すること
- ピアトレーニングを提供すること

発達障害 (Developmental Disability):
カリフォルニア州では、発達障害とは、自閉症、脳性まひ、てんかん、知的障害、またはこれらに類似した状態の重大な障害があり、それが18歳未満で始まり、生涯にわたって支援を必要とする可能性が高い人を指します。

Early Start (Early Start):
Early Startプログラムは、発達遅延または発達障害のある生後3歳までの乳幼児を支援します。Early Startプログラムのサービスは、資格のある乳幼児が新たなスキルを学習し、課題を克服することで、今後の人生で成功できる確率を高めることを目的としています。

資格 (Eligibility):
ランターマン法プログラムからサービスを受けるために満たさなければならない条件。地域センターのサービスには、Early Startプログラムや地域センターを通じた暫定資格を含め、さまざまな資格条件があります。

てんかん (Epilepsy):

脳の活動に影響を与え、てんかん発作を引き起こす発達障害。

機能的能力 (Functional Ability):
基本的なニーズを満たすこと、学ぶこと、成長すること、意思決定をすること、動けること、人間関係を築き維持すること、そしてコミュニティの一員であることを指します。

一般的なサービスおよび自然な支援 (Generic Services and Natural Supports):
地域、州、または連邦の機関からのリソース。これらには、教育サービス、在宅支援サービス、Medi-Cal、および社会保障などのサービスが含まれます。

高齢者ケア (Geriatric Care):

60歳以上の方々へのサービスおよび支援。

在宅レスパイトサービス (In-Home Respite):

家族または介護者に休息を与えることを目的とし、その家族の自宅で提供されるサービス。

在宅支援サービス（IHSS）(In-Home Supportive Services [IHSS]):

障害のある人が自宅で安全に暮らし続けられるように、サービスの費用を支援する州のプログラム。

個別教育計画（IEP）(Individualized Education Program [IEP]):

教育サービスのための書面による計画。

個別プログラム計画（IPP）(Individual Program Plan [IPP]):
次のような分野での目標を リスト化した書面による計画：地域参加、住居、仕事、学校、余暇など。このプランには、あなたが目標を達成するためのサービスや支援が含まれます。

制度上の判定 (Institutional Deeming):
子供の場合は親を通じて、または配偶者の場合は配偶者を通じてMedi Calの資格を得るのに役立つ可能性のある規則を指します。

受け入れ (Intake):

あなたがそのサービスを受ける資格があるかどうか、またどのようなサービスが必要かを判断するために地域センターが用いるプロセス。

知的障害 (Intellectual disability):
「認知障害」とも呼ばれる知的障害は、ある人が他の人よりも学ぶのがゆっくりな状態を表すための推奨される用語です。

通訳・翻訳サービス (Interpreter and Translator Services):
異なる言語を話し、書き、理解する人。彼らは、英語をあなたが選んだ言語にして情報を共有することができます。

ランターマン法 (Lanterman Act):
発達障害のある人々が必要とし、選択するサービスや支援を受ける権利を定めたカリフォルニア州の法律。この法律は発達サービス局を通じて運用されており、サービスはカリフォルニア州の地域センターシステムを通じて提供されています。

最も制限の少ない環境 (Least restrictive environment):
法律と裁判所は、すべての人が、自立を可能にする方法と場所で支援を受ける権利、そして適切な監督を受ける権利があると述べています。

調停 (Mediation):

あなたと地域センターとの間の意見の相違を解決するための面談。

Medi-Cal (Medi-Cal):
低所得のカリフォルニア州民や非常に高額な医療費がかかるその他の人々のために、医療および長期介護サービスの費用を負担するカリフォルニア州の公的プログラム。

措置通知（NOA）(Notice of Action [NOA]):
サービスの受給資格に関する決定や、サービスの変更、または却下についてお知らせする地域センターからの公式な通知。

看護サービス (Nursing Services):
医師によって処方された薬剤またはその他の治療を提供することを含む、健康問題の予防や健康および発達の促進を支援するサービス

自宅外レスパイトサービス (Out of Home Respite):

家族または介護者に休息を与えることを目的とし、本人の自宅以外の場所で提供されるサービス。

参加者主導型サービス (Participant-Directed Services):

IPPに記載されている特定の種類のサービスについて、誰を雇うか、スケジュールをどうするか、監督をどうするかを選択できるサービス。

最終支払者 (Payor of last resort):
他の公的または民間の資金源がこれらのサービスの支払いに利用可能な場合、地域センターの資金をサービスに使用しないという要件。

同年代の仲間 (Peers):
あなたと同等の他の人。彼らはあなたと同じ年齢または文化かもしれません。彼らはあなたと同じ興味を持っているかもしれません。

本人中心の計画 (Person-Centered Planning):
あなたの目標達成および、目標達成のために必要なサービスや支援を得る手助けのため、計画チームがあなたと協力するプロセス。本人中心の計画とは、あなたの強み、能力、そしてニーズに焦点を当てて、自立し、生産的で、満足のいく生活を送ることを意味します。

身体障害 (Physical Disability):

日常生活の活動や交流が困難になったり制限されたりするあなたの身体または心の状態。

暫定資格 (Provisional Eligibility):
5歳未満の一部の子どもは、暫定的な資格と呼ばれるものの対象となる場合があります。その子どもはまだ該当する診断を受けていないか、または重篤な発達障害がない可能性があります。暫定的な資格によってサービスを受けている子どもは、5歳になるまでそのサービスを受けることができます。その時点で、継続的なサービスを受けるためには、地域センターの資格要件を満たす必要があります。もしそうでない場合、地域センターのサービスは終了します。

公的機関 (Public Agency):
政府から資金を受け取り、住宅、食料、交通、医療など 基本的なニーズを支払うことができない地域の人々を支援する機関、事務所、または組織です。

サービスの購入（POS）(Purchase of Service [POS]):

地域センターがあなたのサービスや支援の費用を支払う方法。

紹介 (Referral):
さらなる情報、支援、または対応のために、あなたを別の場所や担当者に案内すること。これは、あなたを助けるスキルを持った個人またはグループである場合があります。

地域センター（RC）（Regional Center [RC]):

地域センターは地域の機関です。彼らは、発達障害を持つ子どもや大人またその家族のためにサービスを手配します。カリフォルニア州全域の各地域に、地域センターがあります。あなたは、自分が住んでいる地域にある地域センターと連携して作業します。

自己擁護者 (Self-Advocate):
自分の健康や安全を含めて自分にとって大切なことや、自分自身のために声を上げ、積極的に自分の人生をより良くしようとする人。

自己決定プログラム（SDP）(Self-Determination Program [SDP]):
自身のニーズによりよく対応し、IPPの目標達成の助けになるような、自分のサービス計画を作成し、またサービス提供者を選択する際に、より多くのコントロールを持つことができる任意のプログラム。計画チームと協力して、認定サービス・プロバイダーや個人または企業からサービス、支援、物品を購入するための予算と支出計画を立てます。

サービスコーディネーターまたはケースマネージャー (Service Coordinator or Case Manager):
あなたのサービスコーディネーターは、地域センターでの主な連絡先です。彼らはプロフェッショナルであり、あなたが目標を達成するのを助けるためのリソース、支援、サービスについて知っています。

サービスプロバイダーまたはベンダー (Service Provider or Vendor):
地域センターのサービスプロバイダーは、個人または企業である場合があります。あなたと面談した後、あなたの人生の目標をサポートする方法を知ることが彼らの仕事です。これらの地域センターのサービスプロバイダーは、ベンダーまたはプロバイダーとも呼ばれます。彼らは、近隣の地域センターで承認プロセスを経る必要があります。彼らは、あなたの年齢、文化、言語、アクセシビリティとニーズに合ったサービスや支援を提供することができます。

移行 (Transition):
人生のある段階から次の段階へと移る時。これは、Early Startからプリスクールへ、高校から高等教育へ、教育から就職または地域プログラムへの移行、などがあります。